

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 1 月 17 日 (2013.1.17)

【公開番号】特開 2012-39316 (P2012-39316A)

【公開日】平成 24 年 2 月 23 日 (2012.2.23)

【年通号数】公開・登録公報 2012-008

【出願番号】特願 2010-176659 (P2010-176659)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/04 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

G 0 3 B 27/62 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/04 1 0 6 A

H 0 4 N 1/12 Z

H 0 4 N 1/00 1 0 8 H

G 0 6 T 1/00 4 3 0 J

G 0 3 B 27/62

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 11 月 22 日 (2012.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

読取位置を通過する原稿に光をあてる光源と

該光源からの光の反射光を受光する受光部と

該光源からの光を該受光部に向け反射するような角度分傾斜して配置され、該原稿で反射されるよりも多くの光量を該原稿がない際に該受光部に反射する反射部と

該受光部の光量が、反射部からの光量より変化した際に原稿の端と判別する判別部とを備えた読取装置。

【請求項 2】

該反射部と連続して搬送路を形成し、該反射部と段差があるガイドと

を備えた請求項 1 に記載の読取装置。

【請求項 3】

該判別部が該受光部の光量が、反射部からの光量へと変化した際も原稿の端と判別する請求項 1 または 2 に記載の読取装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

前記技術的課題を解決するために、請求項 1 に記載の発明の読取装置は、読取位置を通過する原稿に光をあてる光源と、該光源からの光の反射光を受光する受光部と、該光源からの光を該受光部に向け反射するような角度分傾斜して配置され、該原稿で反射されるよ

りも多くの光量を該原稿がない際に該受光部に反射する反射部と、該受光部の光量が、反射部からの光量より変化した際に原稿の端と判別する判別部とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の読取装置において、該反射部と連続して搬送路を形成し、該反射部と段差があるガイド、を備えたことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

前記技術的課題を解決するために、請求項 3 に記載の発明は、請求項 1 または請求項 2 に記載の読取装置において、該受光部の光量が、反射部からの光量へと変化した際に原稿の端と判別する判別部とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項 1、3 に記載の発明によれば、反射部を有しない構成に比べて、読取位置を通過する原稿の端を精度よく判別することができる。

請求項 2 に記載の発明によれば、ガイドを有しない構成に比べて、読取位置を通過する原稿の搬送路が広くなりすぎることを防止できる。